

2026年ゴールデンウィーク 旅行予約動向

- ・海外旅行 ヨーロッパ、アジアが好調、前年比 1.1 倍
- ・国内旅行 全方面が前年超え、前年比 1.3 倍

株式会社阪急交通社（本社：大阪市北区梅田 代表取締役社長 山川豊治）は、ゴールデンウィーク（2026年4月24日～5月6日出発）の海外旅行・国内旅行の予約状況から、旅行動向をまとめました。

物価高が続く中、昨今の中東情勢の緊迫化や原油価格の高騰は、今後消費者の購買意欲に影響を及ぼすことが懸念されます。このように外部環境は変化しつつありますが、2026年のゴールデンウィークは最大 12 連休が可能な日並びであることから、海外旅行は前年比 1.1 倍、国内旅行は前年比 1.3 倍と好調に推移しています。

【海外旅行】

出発日のピーク：① 4月29日（水）② 5月2日（土）③ 5月3日（日）

海外旅行の行き先ランキングは、1位 ヨーロッパ、2位 台湾、3位 韓国となりました。円安や燃油高の影響により、台湾や韓国をはじめとした「近距離・値ごろ感」のあるアジア圏の需要が高まっています。一方で、遠方でも世界的な観光資源が豊富なヨーロッパも需要の回復が進んでおり、国別ではイタリアやスペインが上位を占めています。

前年比の伸び率では、1位 シンガポール、2位 中南米、3位 インドの順となりました。首位のシンガポールでは、航空機で現地に移動し、クルーズ客船で周辺を巡る「フライ&クルーズ」が支持を集めています。2位の中南米では、8日間～10日間の周遊ツアーが好調です。長距離移動を伴うことから、ビジネスクラスやプレミアムエコノミークラスの需要も伸びています。

出発日のピークは、4月29日（水）、5月2日（土）、5月3日（日）に集中しています。長期休暇を活かした高額な「遠距離旅行」を選択する動きと、後半のアジア方面を中心に値ごろ感を重視する短期の「近距離旅行」の動きがあり、需要の二極化傾向が見られます。

海外旅行 人気ランキング

予約人数	海外旅行
1位	ヨーロッパ
2位	台湾
3位	韓国
4位	ベトナム・カンボジア
5位	タイ

海外旅行 伸び率ランキング

予約人数	海外旅行
1位	シンガポール
2位	中南米
3位	インド
4位	韓国
5位	インドネシア

【国内旅行】

出発日のピーク：①4月26日（日）②5月3日（日）③4月25日（土）

国内旅行の行き先ランキングは、1位 近畿、2位 北陸・甲信越、3位 関東となりました。近畿や関東などの大都市圏とその周辺における旅行需要が活況を呈しており、なかでも日帰りバスツアーは前年比1.4倍と大幅に伸びています。

また、前年比の伸び率では、1位 沖縄、2位 九州、3位 北陸・甲信越となりました。沖縄は、個人旅行を中心に需要が増加しているほか、離島の周遊旅行も人気を集めています。北陸・甲信越は、予約数、伸び率ともに上位にランクインしました。同エリアでは、この時期限定の絶景「立山黒部アルペンルート 雪の大谷ウォーク」を目的とした旅行が好調に推移しています。

出発日のピークは、4月26日（日）、5月3日（日）、4月25日（土）となっており、連休の前半と後半に分かれる傾向が見られます。特に日帰りバスツアーの予約は、この3日間に集中していることから、ファミリー層を中心に「短期・近場志向」の需要が高いことがうかがえます。

国内旅行 人気ランキング

予約人数	国内旅行
1位	近 畿
2位	北陸・甲信越
3位	関 東
4位	九 州
5位	中国地方

国内旅行 伸び率ランキング

予約人数	国内旅行
1位	沖 縄
2位	九 州
3位	北陸・甲信越
4位	東 北
5位	北海道

対象期間：2026年4月24日～5月6日出発
 対象ツアー：阪急交通社 募集型企画旅行
 調査日：2026年3月30日

■ゴールデンウィーク特集ページ：<https://www.hankyu-travel.com/gw/?9582>

＜報道関係の方からのお問い合わせ先＞

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL：03-6745-7333 / FAX：03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25 TEL：06-4795-5711 / FAX：06-4795-5724